鷹番

令和8年 10月30日
目黒区立鷹番小学校
学校だより
11月号

◎やさしく（豊かな心）　・かしこく（確かな学力）　・たくましく（健やかな体）

http://www.meguro.ed.jp/metkbeh/

『鷹番小学校の子どもたちの未来のために』

校長 板木 孝悦

昨年度とは違い、今年度は、秋をたくさん感じることのできる気候となりました。そんな中、子どもたちは「やさしく」、「かしこく」、「たくましく」を意識しながら、日々過ごしています。

さて、北は北海道から南は九州までの教員や教育委員会に向け発表の機会となる11月4日（水）が近づいてきたので、あらためて本校の文部科学省研究開発学校の取組についてお伝えします。

鷹番小学校は、令和2年度より文部科学省研究開発学校を受け、保護者や地域の皆様のご理解を得ながら、40分授業午前5時間制の取組を進めて参りました。また、令和6年度より、自己選択学習「チャレンジタイム」を生み出した時間の中に位置付け、児童の自己調整力の育成を図るという研究に取り組み始めました。その際に、メイン講師として鷹番小学校の研究を支えてくださったのが、現在、日本体育大学の石田 有記教授です。先生は、前職が文部科学省の方で、目黒区の研究開発学校を行政側から見守るお立場のお方というご縁で、鷹番小学校に来てくださいました。この3年間、何度も鷹番小学校にご来校いただき、熱心にお付き合いくださいました。この場をお借りし、感謝申し上げます。

この研究を進める中で、私たち教職員が成果として捉えていることがいくつかあります。例えば、40分授業5時間制によって生み出した時間を、児童の実態や学校の実情に応じて工夫することができるというものです。また、自己選択学習「チャレンジタイム」での子どもたちの様子を見ていると、「テーマを見付ける力」「計画を立てる力」「やりぬく力」「振り返って改善する力」の育ちが感じられます。これら4つの力は、自己調整力として、これからの社会を生き抜く子どもたちにとってとても大切となる「深い学び」につながるというものです。

保護者や地域の皆様も、今後の鷹番小学校の子どもたちの未来をどうぞ楽しみにしていてください。

11月の生活目標
「自分の役割に責任をもとう」

・自分の仕事をきちんとする。（係・当番など）

・後始末をする。（清掃用具・遊び道具・学習用具など）

11月は生活指導月間です。ふれあいアンケートを行い、担任と面談を行っています。ちょっとしたことでも困りごとがある場合は、伝える事で解消に繋がる一歩となります。楽しく学校生活が過ごせるように環境整備に努めていきます。

3年生 社会科見学

3年生は社会科見学で目黒区役所と目黒不動尊を訪れました。目黒区役所では、区役所の仕事や施設の役割について説明を受け、私たちの暮らしを支えるしくみについて学びました。また、目黒不動尊では、歴史ある建物や地域に伝わる文化に触れ、目黒区の歴史について理解を深めることができました。

見学中は、メモを取りながら説明を真剣に聞く姿が見られ、意欲的に学習に取り組む様子が印象的でした。子どもたちは積極的に質問をし、実際に見て学ぶことで理解を一層深めることができました。

今回の学びを、これからの学校生活にも生かしてほしいです。